

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式								
EU41E102		教育実践課題研究 (Themed Study of Educational Practice)					省察科目										
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
選択必修		2	1	教育学研究科	後期	火4	氏名 佐藤晋治, 内田昭利, 未定, 河野晋也, 藤村晃成, 森竹啓介, 高橋徹弥, 後藤竜太										
		E-mail ssato@oita-u.ac.jp(特別支援教育), a-uchida@oita-u.ac.jp(授業開発・学級経営)					内線										
授業の概要	本授業においては, 自らが学校実践実地研究 , 特別支援学校実地研究 を通して得た経験などを理論的に省察し, 「教育実践研究」の課題(自己の研究課題)につなげるとともに, 探究方策を具体的に構想する。																
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	それぞれの実地研究 を通して得た経験などを理論的に省察することができる											○	○				
目標2	「教育実践研究」の探究方策を具体的に構想する											○	○				
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	【実習前】																
2	・研究課題の設定																
3	・研究計画の作成																
4	・実習計画書の吟味																
5	・先行研究調査																
6	・文献調査																
7	【実習中】																
8	・実地研究 の1週間ごとの省察																
9	・実地研究 の1週間ごとのまとめ																
10	【実習後】																
11	・実地研究 を通して得た経験の理論的省察																
12	・実地研究 に向けて, 探究方策を構想する																
13	・報告会																
14																	
15																	
ラ イ ク ニ テ ン イ グ ブ	A:知識の定着・確認				演習・発表・ディスカッション				工 夫 そ の 他 の		LMS (Moodle) の活用						
	B:意見の表現・交換		○														
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造		○														
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	文献の精読(5h), 先行研究調査および資料の収集(10h), 発表資料の作成(15h)															
	事後学修	省察したことを整理する(10h)															
教科書	特になし。授業中に指示する。																
参考書	特になし。授業中に指示する。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法						割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	複数教員による多面的・総合的評価(受講態度, 課題に取り組む姿勢, 討論への参加等)						50%	○	○								
	報告会における発表, 資料など						50%	○	○								
注意事項																	
備考																	
リンク																	
	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	○
教員の实務 経験	内田(小・中・盲学校)/河野(小学校)/森竹(中学校，教育委員会事務局)/高橋(特別支援学校，教育委員会事務局)/後藤(小学校，教育委員会事務局)/他
実務経験を いかした教 育内容	学校現場，教育行政現場，心理臨床の現場での実務経験及び領域専門性を活かして実習前・実習中・実習後の指導を行う。